



2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2501 URL <https://www.sapporoholdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾賀 真城
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小松 達也 TEL 03-5423-7407
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	89,894	△9.9	△6,852	—	△6,160	—	△5,248	—	△5,199	—	△615	—
2020年12月期第1四半期	99,824	△1.1	△6,197	—	△6,078	—	△4,704	—	△4,649	—	△18,591	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△66.75	△66.75
2020年12月期第1四半期	△59.69	△59.69

(参考) 税引前四半期利益 2021年12月期第1四半期 △6,230百万円 2020年12月期第1四半期 △6,304百万円

※事業利益とは、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	602,413	145,640	145,889	24.2
2020年12月期	616,349	149,551	149,781	24.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	42.00	42.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	468,200	7.7	9,000	111.2	18,000	—	12,000	—	12,000	—	154.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※年次で業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	78,794,298株	2020年12月期	78,794,298株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	897,542株	2020年12月期	896,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	77,897,031株	2020年12月期1Q	77,895,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（期中営業活動の季節性について）

当社グループの業績は、酒類、食品飲料の各事業の需要に大きな季節変動があります。このため、第1四半期連結累計期間においては、売上収益が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(事業セグメント)	10
(重要な後発事象)	10

○第1四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～3月31日）において、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の再発出などの影響を受け、主に業務用ビール売上、自動販売機における飲料売上、ピヤホールなどの外食店舗売上が、前年同期から減少しました。

その結果、事業利益は食品飲料事業を除き前年同期から減益となり、営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期から減益となりました。

① 全般的概況

第1四半期 連結累計期間	売上収益	事業利益（※）	営業利益	親会社の所有者に帰属 する四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年	89,894	△6,852	△6,160	△5,199
2020年	99,824	△6,197	△6,078	△4,649
増減率（%）	△9.9	—	—	—

※事業利益（損失）は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

② 報告セグメント別の概況

第1四半期 連結累計期間	売上収益（百万円）			事業利益（百万円）			営業利益（百万円）		
	2020年	2021年	増減率 （%）	2020年	2021年	増減率 （%）	2020年	2021年	増減率 （%）
酒類事業	63,373	56,635	△10.6	△4,607	△5,022	—	△4,534	△4,453	—
食品飲料事業	30,338	27,579	△9.1	△1,388	△1,089	—	△1,395	△1,028	—
不動産事業	6,073	5,635	△7.2	1,198	719	△40.0	1,192	728	△39.0

〔季節性要因による影響について〕

当社グループの業績は、酒類事業、食品飲料事業の需要に大きな季節変動があります。このため、当第1四半期連結累計期間においては、売上収益が他の四半期と比較して低くなる傾向があります。

〔酒類事業〕

〔国内酒類〕

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き甚大な影響を受け、国内におけるビール類総需要は、前年同期比90%程度に留まったと推定されます。

そのような中、ビールでは、業務用ビールの売上数量が減少しましたが、主力の「サッポロ生ビール黒ラベル」や「エビスブランド」の缶製品は好調で、売上数量はそれぞれ前年同期比116%、119%となりました。新ジャンルでは、発売1周年を迎える「サッポロ GOLD STAR」を2月にリニューアルしたことが奏功し、売上数量は前年同期比103%となりました。以上の結果、ビール類合計の売上数量は前年同期比89%となりました。

RTD（※1）では、3月に発売した缶の新商品「サッポロ 濃いめのレモンサワー」が好評で、コラボRTDの軸商品である「男梅サワー」も順調に推移し、売上収益は前年同期を大幅に上回りました。

和酒では、甲乙混和芋焼酎売上No.1（※2）の「こくいも」、「濃いめのレモンサワーの素」が引き続き好調に推移し、売上収益は前年同期を上回りました。

〔海外酒類〕

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き甚大な影響を受け、北米におけるビール類総需要は、カナダは前年同期を下回ったものの、アメリカは回復傾向にあると推定されます。

そのような中、海外ブランドビールでは、家庭用比率の高いスリーマン社が牽引し、売上数量はほぼ前年並みとなりました。

サッポロブランドビールでは、主に米国のレストランの営業制限に伴い業務用市場が停滞し、売上数量は前年同期を下回りました。

(外食)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、パブレストラン・居酒屋業界全体が前年から引き続き甚大な影響を受けています。

そのような中、当社の外食事業では、食事メニューやテイクアウト・デリバリー商品の強化、不採算店舗の閉鎖・低コスト低オペレーション業態へのシフトなどに取り組みましたが、前年同期と比較して減収減益となりました。

以上の結果、酒類事業の売上収益は566億円（前年同期比67億円、11%減）となり、事業損失は50億円（前年同期は46億円の損失）、営業損失は45億円（前年同期は45億円の損失）となりました。

※1 RTD：Ready To Drinkの略。購入後そのまま飲める、缶チューハイなどのアルコール飲料

※2 インテージSRI甲乙混和芋焼酎市場2019年7月～2021年3月累計販売金額全国SM/ CVS/ 酒DSの合計

〔食品飲料事業〕

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業務用市場や自動販売機における需要に前年から引き続き影響を受けており、国内における飲料総需要は、前年同期比94%に留まったと推定されます。

そのような中、国内飲料では、健康意識の高まりを背景にレモン飲料が好調に推移しましたが、自動販売機における売上数量減少をカバーするには至らず、飲料合計の売上数量は前年同期を下回りました。

国内食品では、スープが前年の巣ごもり需要の反動等を受け、売上数量は前年同期を下回りました。

レモン食品では、「ポッカレモン100」が用途の広がりでもち容量とも伸長し、レモン食品の売上数量は前年同期比120%と大きく上回りました。プランツミルクでは、豆乳ヨーグルトが貢献し、売上数量は前年同期を上回りました。

カフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」を展開するポッカクリエイト社は、カフェ業界が前年から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているため、売上収益は前年同期を下回りました。

以上の結果、食品飲料事業の売上収益は276億円（前年同期比28億円、9%減）となり、事業損失は11億円（前年同期は14億円の損失）、営業損失は10億円（前年同期は14億円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

首都圏のオフィス賃貸市場では、稼働率及び平均賃料水準は下降トレンドにあります。そのような中、不動産事業では、収益の柱である「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ首都圏を中心に保有する物件において、一部のテナントが退去する一方で新規入居の動きも出始めており、稼働率、賃料水準を維持しています。商業施設では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上収益は減少しました。

以上の結果、不動産事業の売上収益は56億円（前年同期比4億円、7%減）、事業利益は7億円（前年同期比5億円、40%減）、営業利益は7億円（前年同期比5億円、39%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、棚卸資産、その他の金融資産（非流動）等が増加した一方、営業債権及びその他の債権、その他の金融資産（流動）の減少等によって、前連結会計年度末と比較して139億円減少し、6,024億円となりました。

負債は、社債及び借入金（流動）の増加等があった一方、その他の流動負債、営業債務及びその他の債務、社債及び借入金（非流動）の減少等によって、前連結会計年度末と比較して100億円減少し、4,568億円となりました。

資本は、その他の資本の構成要素が増加した一方で、親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上、期末配当の実施により、前連結会計年度末と比較して39億円減少し、1,456億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年2月10日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,734	19,101
営業債権及びその他の債権	84,475	60,840
棚卸資産	36,001	39,768
その他の金融資産	5,459	3,701
未収法人所得税	8,755	10,451
その他の流動資産	6,128	5,945
小計	160,551	139,807
売却目的で保有する資産	278	—
流動資産合計	160,829	139,807
非流動資産		
有形固定資産	126,650	129,347
投資不動産	218,574	219,169
のれん	17,920	18,060
無形資産	9,023	9,011
持分法で会計処理されている投資	446	1,348
その他の金融資産	69,969	72,920
その他の非流動資産	6,108	5,791
繰延税金資産	6,831	6,961
非流動資産合計	455,520	462,606
資産合計	616,349	602,413

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	31,927	30,479
社債及び借入金	83,177	90,476
リース負債	5,836	6,051
未払法人所得税	727	409
その他の金融負債	38,120	35,758
その他の流動負債	56,456	44,038
流動負債合計	216,243	207,211
非流動負債		
社債及び借入金	158,091	157,101
リース負債	21,046	21,133
その他の金融負債	45,344	45,493
退職給付に係る負債	3,965	3,494
その他の非流動負債	2,832	2,900
繰延税金負債	19,277	19,440
非流動負債合計	250,555	249,562
負債合計	466,798	456,773
資本		
資本金	53,887	53,887
資本剰余金	40,853	40,837
自己株式	△1,787	△1,789
利益剰余金	33,459	25,408
その他の資本の構成要素	23,370	27,546
親会社の所有者に帰属する持分合計	149,781	145,889
非支配持分	△231	△249
資本合計	149,551	145,640
負債及び資本合計	616,349	602,413

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	99,824	89,894
売上原価	71,446	65,617
売上総利益	28,378	24,277
販売費及び一般管理費	34,575	31,128
その他の営業収益	355	1,299
その他の営業費用	237	607
営業損失(△)	△6,078	△6,160
金融収益	239	376
金融費用	466	449
持分法による投資利益	2	3
税引前四半期損失(△)	△6,304	△6,230
法人所得税	△1,599	△982
四半期損失(△)	△4,704	△5,248
四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△4,649	△5,199
非支配持分	△55	△49
四半期損失(△)	△4,704	△5,248
基本的1株当たり四半期損失(△) (円)	△59.69	△66.75
希薄化後1株当たり四半期損失(△) (円)	△59.69	△66.75

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期損失 (△)	△4,704	△5,248
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△9,838	1,813
確定給付制度の再測定	△2,038	218
純損益に振り替えられることのない項目合計	△11,876	2,031
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,007	2,585
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	△4	17
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,011	2,602
税引後その他の包括利益合計	△13,887	4,633
四半期包括利益	△18,591	△615
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△18,496	△597
非支配持分	△95	△19
四半期包括利益	△18,591	△615

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・ユー・フュー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計
2020年1月1日残高	53,887	40,958	△1,792	51,521	△863	△68	30,428	-	29,497
四半期損失(△)				△4,649					-
税引後その他の包括利益					△1,967	△4	△9,838	△2,038	△13,846
四半期包括利益	-	-	-	△4,649	△1,967	△4	△9,838	△2,038	△13,846
自己株式の取得			△1						-
自己株式の処分		△0	0						-
配当				△3,277					-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△2,394			356	2,038	2,394
所有者との取引額合計	-	△0	△1	△5,671	-	-	356	2,038	2,394
2020年3月31日残高	53,887	40,958	△1,793	41,201	△2,829	△72	20,946	-	18,045

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	174,071	454	174,524
四半期損失(△)	△4,649	△55	△4,704
税引後その他の包括利益	△13,846	△40	△13,887
四半期包括利益	△18,496	△95	△18,591
自己株式の取得	△1	-	△1
自己株式の処分	0	-	0
配当	△3,277	-	△3,277
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-
所有者との取引額合計	△3,278	-	△3,278
2020年3月31日残高	152,297	358	152,655

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				合計
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	
2021年1月1日残高	53,887	40,853	△1,787	33,459	△1,806	△40	25,215	-	23,370
四半期損失(△)				△5,199					-
税引後その他の包括利益					2,554	17	1,813	218	4,603
四半期包括利益	-	-	-	△5,199	2,554	17	1,813	218	4,603
自己株式の取得			△1						-
配当				△3,277					-
株式に基づく報酬取引		△17							-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				426			△208	△218	△426
所有者との取引額合計	-	△17	△1	△2,851	-	-	△208	△218	△426
2021年3月31日残高	53,887	40,837	△1,789	25,408	748	△22	26,820	-	27,546

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年1月1日残高	149,781	△231	149,551
四半期損失(△)	△5,199	△49	△5,248
税引後その他の包括利益	4,603	30	4,633
四半期包括利益	△597	△19	△615
自己株式の取得	△1	-	△1
配当	△3,277	-	△3,277
株式に基づく報酬取引	△17	-	△17
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	-
所有者との取引額合計	△3,295	-	△3,295
2021年3月31日残高	145,889	△249	145,640

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、純粋持株会社である当社の下、各事業会社が、取り扱う製品・サービス・販売市場についての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。

当社グループの報告セグメントは、主に事業会社及びその関係会社を基礎とした製品・サービス・販売市場別に構成され、「酒類事業」、「食品飲料事業」、「不動産事業」の3事業を報告セグメントとしております。

「酒類事業」は、酒類の製造・販売、各種業態の飲食店の経営等を行っております。

「食品飲料事業」は、食品・飲料水の製造・販売等を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸等を行っております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	63,373	30,338	6,073	40	99,824	—	99,824
セグメント間収益	2,234	34	660	0	2,929	△2,929	—
合計	65,607	30,372	6,733	40	102,752	△2,929	99,824
営業利益又は営業損失(△)	△4,534	△1,395	1,192	7	△4,729	△1,349	△6,078

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	56,635	27,579	5,635	45	89,894	—	89,894
セグメント間収益	2,854	213	604	0	3,671	△3,671	—
合計	59,488	27,792	6,239	46	93,565	△3,671	89,894
営業利益又は営業損失(△)	△4,453	△1,028	728	8	△4,746	△1,414	△6,160

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康食品事業等を含んでおります。調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間消去取引が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。